

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

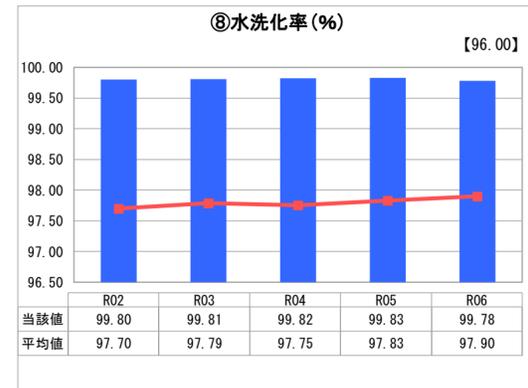
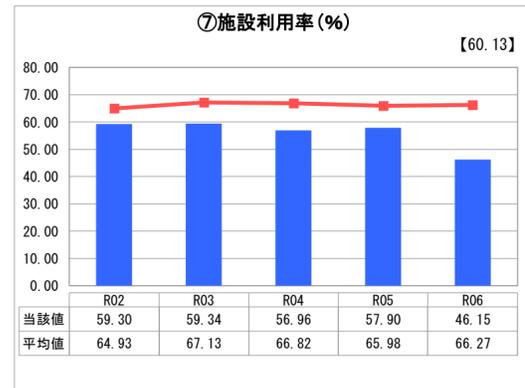
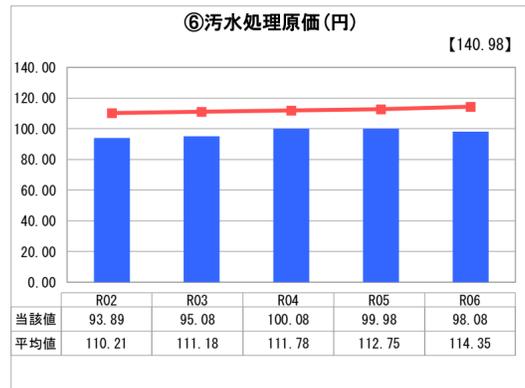
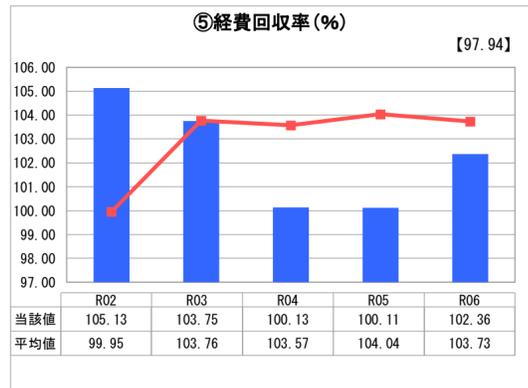
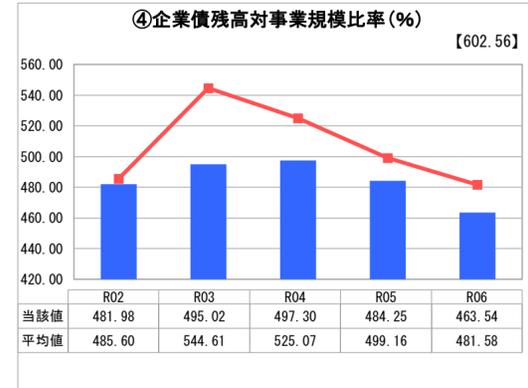
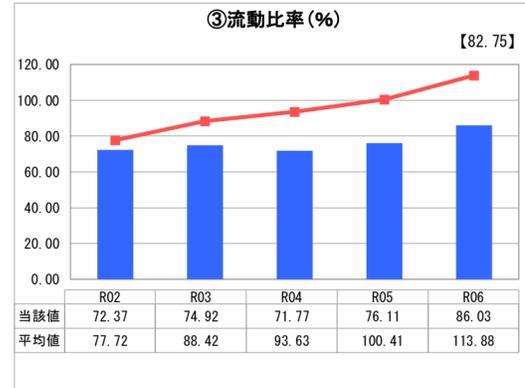
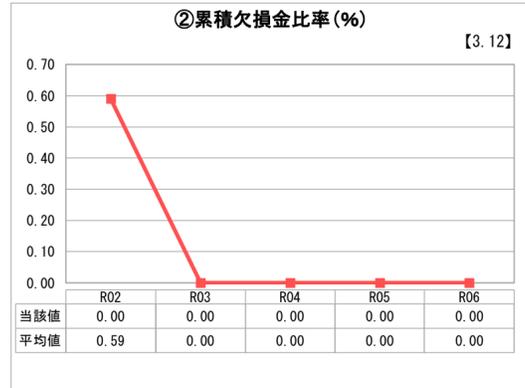
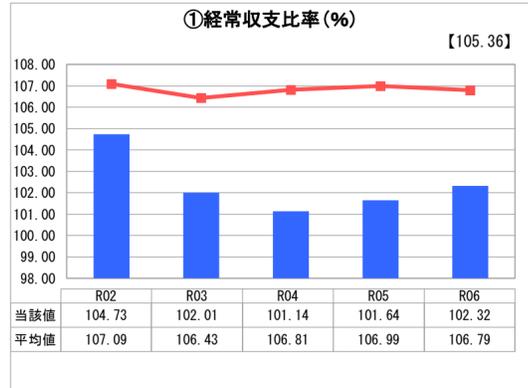
兵庫県 西宮市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Ab	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	69.59	99.95	73.36	1,777

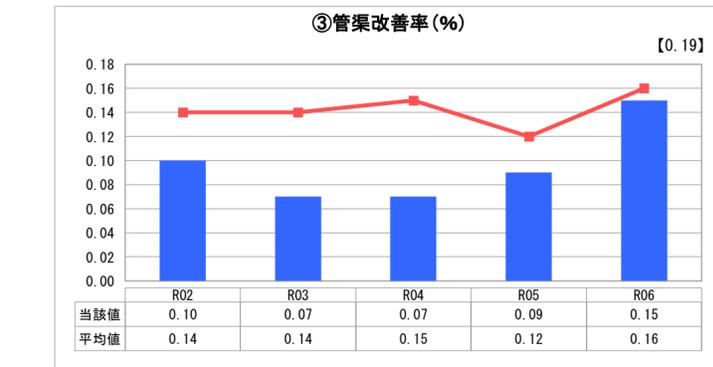
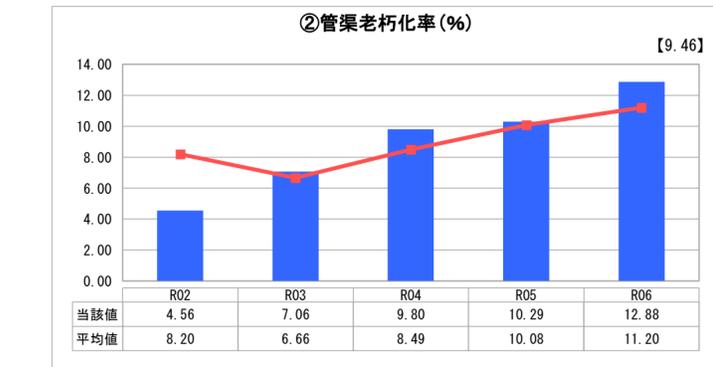
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
480,818	99.95	4,810.59
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
479,564	48.29	9,930.92

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率及び⑤ 経費回収率は使用料収入の微増等の影響により、前年度より改善しているが、物価高騰等の影響を受け100%を上回っているものの低下傾向にあることから注意が必要である。

③ 流動比率は、緩やかに改善しているが100%を下回っている。

④ 企業債残高対事業規模比率は平均的であるが、施設の老朽化等による改築更新事業の増に伴い今後企業債残高の増加や使用料収入の減少が考えられることから注意が必要である。

⑥ 汚水処理原価については平均値と比較し低くなっている。

⑦ 施設利用率については、本市の南部地域の一部が合流式となっており、雨天時の処理能力も必要であることから、類似団体平均より数値が低くなる傾向がある。

⑧ 水洗化率は高く、適正に使用料収入を得られる環境にある。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率、② 管渠老朽化率については、下水道普及促進のため、昭和年代に集中的に整備した処理場・ポンプ場・管渠の老朽化が進んでおり、類似団体平均を上回っている。引き続き、ストックマネジメント計画に基づき、計画的に改築更新を実施していく。

### 全体総括

標準耐用年数を超過した施設は増加傾向にあり、老朽化対策が重要となっている。ストックマネジメント計画に基づく改築更新を着実に実施し、その事業費の確保にも努めていく必要がある。

今後、企業債償還金が再び増加に転ずる見込みとなっているなか、人口減少等による使用料収入の減少傾向や、物価高騰等による維持管理費の増加により本市の経営状況は厳しいものとなっており、更なる経営の合理化、効率化に取り組みつつ適正な使用料体系の検討が必要となっている。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。